

地域と連携を図りながら取り組むPTA活動

大府市立大府西中学校PTA

1 はじめに

本校は、昭和46年に名古屋市南東部に隣接する大府市の都市化に伴い、市内2番目の中学校として設立された。本年度は創立46年目を迎え、全校生徒数は11月1日現在598名、学級数は19学級（通常学級17、特別支援学級2）である。

学校は、果樹園や畑に囲まれて学校周辺に民家は少ない。



【大府市西中学校全景】

校区は、石ヶ瀬地区、共長地区の2小学校区からなっている。近年石ヶ瀬地区が開発され、住宅や商業施設が増えて都市化が進んでいる。しかし、学校教育に対する期待は以前と変わらず大きく、学校を積極的に支援しようとする雰囲気を感じられる。このような中で、PTA活動も学校内での活動にとどまるのではなく、地域・家庭と協力して、生徒の健やかな成長を願って活動をしている。

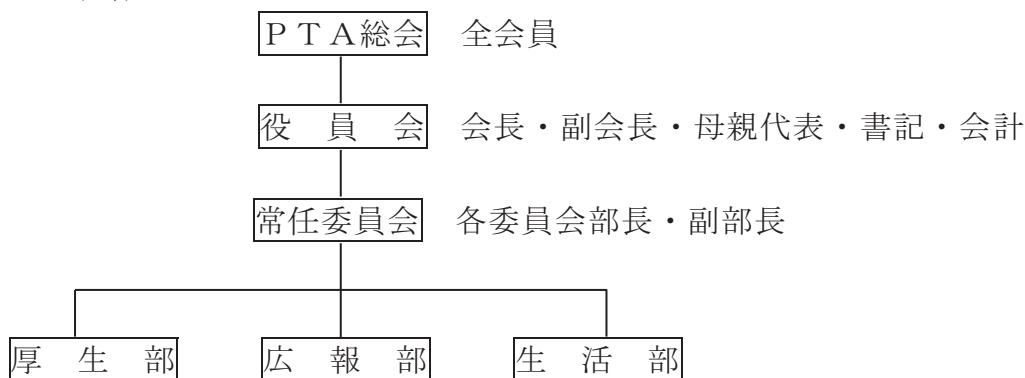
2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校区では、宅地開発に伴い価値観の多様化、地域とのつながりの希薄化などさまざまな問題があがってきている。このような状況は、学校だけが感じているのではなく、校区にある2つの地区でも深刻な問題になりつつあり、その対策のため地区独自の行事や取組に力を入れている。

教育活動を活性化するためには、家庭・地域・学校が協力していくことは不可欠である。そこで、今回の研究テーマ「地域社会との緊密な連携を築く」を視点にPTA活動を見直す機会として研究を進めることとした。学校内での活動にとどまることなく、PTAから地域へ働きかける取組を行ったり、各地区で行われる行事にPTAも参加したりしながら、PTA活動を振り返り、家庭・地域・学校との連携を深めるPTA活動をめざして取り組むこととした。この研究により、家庭・地域・学校の協力体制をより強固なものにしていきたいと考えた。

(2) P T A組織



本校のP T Aの組織は、上記のような構成になっている。また、本校の特徴として、P T A組織とは別に、下記に示すような、有志による父親、母親の集まりがあり独自の活動をしている。

おやじ協力隊……父親の有志の集まり

<活動内容>・校内美化活動、行事における校内巡視
・丸太切り大会運営（文化祭）など

か りん とう
母 凜 党……母親の有志の集まり

<活動内容>・カーテン・電子黒板カバーの製作
・喫茶室、小物づくりブース運営（文化祭）など

3 実践活動の概要

(1) 登校時のあいさつ運動

5月と10月は、大府市の各地区で教育委員会をはじめ、各地区のボランティア等が参加してあいさつ運動が大々的に行われている。それにあわせて本校P T Aも5月と10月の「0の日」に、昇降口と通学路であいさつ運動を行っている。写真は大府市の



【あいさつ運動の様子】

のマスコットとP T A、教育委員会、本校生徒会が合同であいさつ運動を行っている様子である。あいさつ運動は、生徒会が中心となって普段から行っているが、P T Aが参加するときには、あいさつをする生徒会の声も登校する生徒のあいさつの声も大きくなる。年に数回ではあるが、教育委員会等も参加して行われる場合には、一段とあいさつの声が大きくなる。このような取組が地区のボランティアとしてあいさつ運動に関わる人材を育成することにつながると思われる。

(2) 校区内店舗への協力依頼

夏休みを前に、PTA生活委員と教師が合同で校区内の店舗を回って万引き、深夜徘徊等がないように気軽に子どもたちに声をかけもらうようにチラシを作って、協力依頼をしている。PTA委員と教師が実際に店舗に出向いて依頼することで、店舗側もささいなことでも学校に連絡すればいいのだという安心感や気軽に子どもたちに声をかけることができるようになると思われる。



【店舗訪問の様子】

この取組により、学校や家庭だけではなく、地域も協力して中学生を含めた子どもたちを健全に育てていこうという気持ちが高まると思われる。ちなみに、夏休み中に教師が行う校区内巡視で店舗を回って確認しているが、困った状況を耳にすることはなかった。店舗側のちょっとした目配りや行動で子どもたちも落ち着いた生活ができたのではないかと思われる。

(3) 夏祭りの巡視活動

本校の学区の2つの地区でそれぞれ夏祭りが行われる。毎年、夏祭りでは、祭りに参加する子どもたちの様子を観察するとともに、問題行動を抑止するために、PTA委員と教師が協力して巡視活動を行っている。

石ヶ瀬地区夏祭りは、毎年、海の日前の土日に行われる。この夏祭りでは、多くの中学生がボランティアとして参加しているため、活躍する生徒の姿を見て、声をかけることも巡視の目的の一つとして行っている。



【巡視をするPTA委員】

共長地区の夏祭りは、毎年7月末にJR共和駅前を中心に盛大に行われる。この祭りでは、共和駅前ロータリーの特設ステージに中学生が太鼓の演奏者として上がって祭りを盛り上げる。太鼓の演奏は毎年募集し、6月から公民館で地域の方の指導を受けている。太鼓の練習には、PTA委員も付き添い、生徒の練習の見守りや行き帰りの安全を確保している。このような活動を通して、地域の行事を支えている。

(4) 夜間パトロール活動

校区の自治会ではそれぞれ、夏休み中に区長、民生児童委員、保護司等が参加して夜間パトロール活動を行っている。本校PTA委員もこの活動に参加している。今年の活動は、7月、8月の夜8：00から約1時間をかけ、1班7人から10人で、3班に分かれて地区のパトロールを行った。



【幟をもってパトロールへ出発】

公園やコンビニエンスストアに子どもたちが集まっていないか、街灯が切れていないか、極端に暗くて危険な場所はないか等を視点にパトロールを行った。パトロールで見つけた問題点は、区長が集約し行政、警察、学校等と連絡を取って問題点を改善していくことになっている。今年の活動では、子どもの夜間徘徊等の問題は一件もなかったが、放置自転車の問題や暗くて危険な道路があることが分かった。

この活動に参加したPTA委員から、「地区の人といっしょにパトロールをすることを通して、地区全体で子どもたちを見守ってくれていることがよく分かり、ありがたく感じた」との感想をもらった。これは、夜間パトロール活動が、PTAが地区と連携して活動することの意義や大切さを認識する機会となったことを意味している。保護者であるPTA委員が地区と協力する機会を増やすことで子どもたちの幸せにつながると感じた。

4 おわりに

今回、様々な地区の行事に参加して、それぞれの地区では地区の力を大きくし、安全で住みやすい町にしようと知恵を出し合って努力をしていることがよく分かった。そして、子どもたちが楽しみにしている地区の行事では、子どもたちが大人になって地区の一員として活躍してくれることを願って、中学生にはボランティアとして参加してもらっていると感じた。一方では、多くの目で地区の後継者である大切な子どもたちの安全と成長を見守ってくれていることがよく分かった。

現在社会では、少子高齢化が進んでおり、地域の教育力が大きな課題となっている。このような時代だからこそ、子どもたちは地域の行事に積極的に参加し、地域の後継者となることへの期待がかかっている。その期待に応えるためには、家庭、学校も積極的に地域に関わって連携しながら活動していく必要性を感じる。保護者は、学校ではPTA活動を支える一員であり、地域では地域を支える一員でもある。このことを念頭に、PTA委員が率先して地域と関わりながら、今後のPTA活動を進めていきたい。